

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【公開番号】特開2016-2708(P2016-2708A)

【公開日】平成28年1月12日(2016.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-002

【出願番号】特願2014-124472(P2014-124472)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/165 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 2/165 3 0 7

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月28日(2016.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 2】

切換部39は、垂直方向における払拭装置32B, 31B, 32A, 31Aの姿勢を維持したまま、切換移動方向に沿って払拭装置32B, 31B, 32A, 31Aを一括して移動させることで、液体吐出ヘッド16Y, 16M, 16C, 16Kと払拭装置32B, 31B, 32A, 31Aとの対応関係を変更する。切換部39の動作の詳細は後述する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 8 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 8 5】

ケース300は、ケース本体330、及び不図示の蓋から構成される。ケース本体330は、高さ方向を長手方向とする立方体であり、正面に不図示のヒンジを介して蓋が取り付けられており、蓋の開閉によって払拭ユニット302の正面を開閉させることができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 0 5】

本実施形態では、液体吐出ヘッド16Y, 16M, 16C, 16Kが円弧状の用紙搬送経路に沿って配置される態様を例示したが、液体吐出ヘッド16Y, 16M, 16C, 16Kを水平面に沿って配置させてもよい。液体吐出ヘッド16Y, 16M, 16C, 16Kを水平面に沿って配置させる場合には、払拭装置32B, 31B, 32A, 31Aにおけるウエブ41B, 40B, 41A, 40Aの傾斜角度を調整する角度調整部は省略される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 1 3】

払拭ローラを備えた払拭装置3 2 B，3 1 B，3 2 A，3 1 Aは、払拭ローラを一方向の駆動回転方向に駆動回転させた状態で、払拭ローラの周面を吐出面1 7 Y，1 7 M，1 7 C，1 7 Kに接触させて、吐出面1 7 Y，1 7 M，1 7 C，1 7 Kを払拭する。